第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注)　解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法　規　１２問
無線工学　１２問　} ２４問　1時間

法　　規

〔1〕　無線局の予備免許が与えられるときに総務大臣から指定される事項はどれか。次のうちから選べ。

1　無線局の種別
2　免許の有効期間
3　空中線電力
4　無線設備の設置場所

〔2〕　次の記述は、電波法の目的である。[　　] 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

この法律は、電波の公平かつ [　　] な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。

1　能率的
2　能動的
3　積極的
4　経済的

〔3〕　次の記述は、電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、[　　] 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

送信設備に使用する電波の [　　] 、高調波の強度等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。

1　周波数の安定度
2　変調度
3　周波数の偏差及び幅
4　空中線電力の偏差

〔4〕　第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者の無線設備の操作の対象となる「陸上の無線局」に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

1　海岸局
2　固定局
3　航空局
4　基幹放送局

〔5〕　総務大臣が無線従事者の免許を与えないことができる者はどれか。次のうちから選べ。

1　電波法の規定に違反し、３箇月以内の期間を定めて無線通信の業務に従事することを停止され、その停止の期間が終了した日から２年を経過しない者
2　刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から２年を経過しない者
3　日本の国籍を有しない者
4　無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から２年を経過しない者

〔6〕　第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の２５，０１０ｋＨｚから９６０ＭＨｚまでの周波数の電波を使用する無線設備（レーダーを除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

1　１０ワット
2　２０ワット
3　３０ワット
4　５０ワット

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法　　規

〔7〕　一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

1　無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
2　無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
3　無線通信を行う場合においては、暗語を使用してはならない。
4　無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。

〔8〕　総務大臣は、無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるときは、その無線局に対してどのような処分を行うことができるか。次のうちから選べ。

1　周波数の指定を変更する。
2　空中線電力の指定を変更する。
3　無線局の免許を取り消す。
4　臨時に電波の発射の停止を命ずる。

〔9〕　総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

1　日本の国籍を有しない者となったとき。
2　不正な手段により無線従事者の免許を受けたとき。
3　刑法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられたとき。
4　引き続き５年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔10〕　無線局の免許人（包括免許人その他別に定めるものを除く。）は、無線局の免許を受けた日から起算して何日以内に、また、その後毎年その免許の日に応当する日（応当する日がない場合は、その翌日）から起算して何日以内に電波法に定める電波利用料を国に納めなければならないか。次のうちから選べ。

1　２０日
2　６０日
3　１０日
4　３０日

〔11〕　無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1　１箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
2　速やかに、総務大臣の承認を受ける。
3　遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
4　２週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。

〔12〕　無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

1　１箇月以内に総務大臣に返納する。
2　直ちに廃棄する。
3　３箇月以内に総務大臣に返納する。
4　２年間保管する。